

日本離婚・再婚家族と 子ども研究学会 第 1 回大会プログラム

The 1st Annual Meeting for

the Japanese Association for Research on Children of Divorced Families and Stepfamilies

2018.11.3－4

茨城大学 水戸キャンパス

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会

第1回大会開催にあたってのごあいさつ

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会第1回大会を、2018年11月3日（土）～4日（日）の2日間の日程で、茨城大学水戸キャンパスにて開催いたします。本研究学会は2018年4月に設立をしたばかりのまだ若い団体ですが、「離婚・再婚家族と子ども」を研究テーマとした学会としては、日本に類を見ないものと言えます。

第1回大会のテーマは、「日本における離婚・再婚家族と子どもの養育をめぐって」です。大会の概要ですが、「研究発表」「大会企画シンポジウム」「ワークショップ」の3つの企画で構成されています。1日目の午前中に研究発表を行います。募集等、手続きについては追って参加者の方にご連絡をいたします。1日目の午後は、「面会交流の現状と課題-海外から何を学ぶか」をテーマとした大会企画シンポジウムを予定しています。2日目ですが、F A I T（Families In Transition）とS A J（Stepfamily Association of Japan）の2団体によるワークショップを開催します（開催は同時間です）。各企画にどうぞご期待ください。

茨城県の中部に位置する県庁所在地の水戸市は、水戸徳川家ゆかりの地としても知られています。また、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により、天保12年（1841年）8月に、水戸藩の藩校として弘道館が創設されました。当時の藩校としては国内最大規模のもので、藩士に文武両道の修練を積みせようと、武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問を採り入れた、いわば総合大学というべきものであったようです。学術的にも深い歴史を有するこの地で、第1回大会が開催されるのは、非常に意義のあるものと考えます。水戸の歴史や自然、そして文化を体験していただきながら、学会員相互の交流を深め、活発な意見交換の機会になればと願っております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

2018年5月30日

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会
第1回大会会長 茨城大学 野口 康彦

目次

大会スケジュール	4
大会参加者へのご案内	5
1. 会場	5
2. 受付	6
3. クローク	6
4. 休憩室・交流スペース	6
5. 懇親会	6
6. 総会	7
7. インターネット	7
8. 昼食	7
9. その他	7
10. お問い合わせ	7
研究発表者、ワークショップファシリテーター等へのご案内.....	8
大会シンポジウム.....	9
研究発表 A	10
研究発表 B.....	11
ワークショップ A	12
ワークショップ B	12

大会スケジュール

大会スケジュール1日目 11月3日（土）

		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		20:00					
講義棟14番教室		9:30～																									
		受付・クローク・大会本部																									
講義棟15番教室		13:50～																									
		休憩室・交流スペース										総会		大会シンポジウム 面会交流の現状と課題 ―日本は海外から何を学ぶべきか―													
講義棟27番教室		研究発表A				12:10～																					
		A-1 中国のス テップファ ミリーの 多様性		A-2 シングル ファー ザーの語 る子育て 経験		A-3 大事な は親同士 の心の仲 介！現場 から見る 面会交流		A-4 離婚後の 面会交流 における両 親間の円 滑な情報 共有																			
講義棟28番教室		研究発表B																									
		B-1 養育費 不払い 問題につ いて		B-2 ネガティブ な夫婦ラ イフイベン トの多重 構造		B-3 父母葛 藤・協力 と子どもの 心理的苦 痛、適応 等との関 連		B-4 親の離 婚・再婚を 経験した 子どもの結 婚観																			
次苑会館 (学生会館)																											
		懇親会																									

大会スケジュール2日目 11月4日（日）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	20:00
講義棟14番教室	9:30～ 受付・クローク・大会本部										
講義棟28番教室	ワークショップA FAITプログラム 離婚家庭と子どもへの支援 ～ FAIT(Families in Transition)プログラムの紹介と実践～										
講義棟29番教室	ワークショップB ステップファミリープログラム SAJ（ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン） ステップファミリーの基本理解とサポートプログラムの紹介										

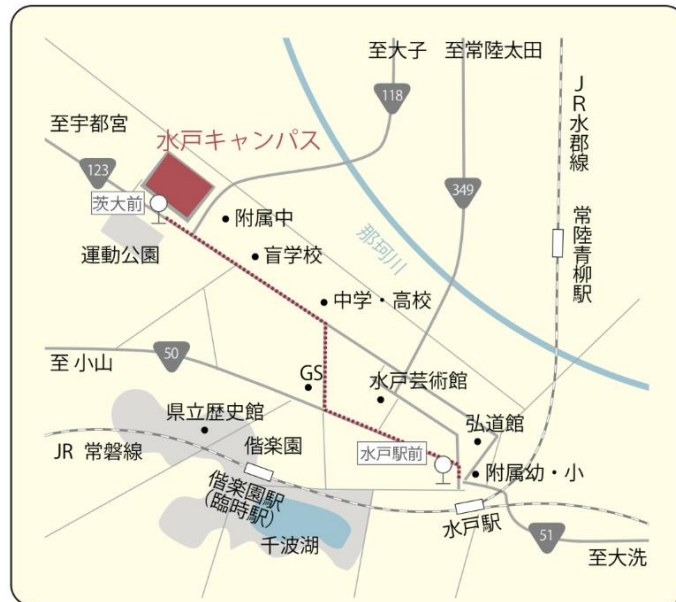
大会参加者へのご案内

1. 会場

場所：茨城大学 水戸キャンパス（茨城県水戸市文京 2-1-1）

時間：大会1日目（11月3日・土）11：00－17：30

大会2日目 (11月4日・日) 9:30-12:30



〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 TEL: 029-228-8111 (代)

■人文社会科学部	TEL: 029-228-8104
■教育学部	TEL: 029-228-8205
■理学部	TEL: 029-228-8334

交通案内
JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から
茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、
「茨大前」で下車(バス乗車時間は約25分)。

水戸キャンパス

環境リサーチラボラトリー／地球変動適応科学研究機関／放送大学茨城学習センター



2. 受付

場所：講義棟 14 番教室

<受付でのお手続き>

- 1) 記入コーナーで「誓約書」に必要事項を記入
- 2) 受付窓口へ提出
- 3) 参加費（※）をお支払い
- 4) 参加証を受取（大会期間中は、参加証をおつけください。）

※参加費：正会員 2,000 円 学生会員 1,500 円です。

懇親会参加費：正会員 3,000 円 学生会員 1,500 円です。

できる限りお釣りのないようお願いします。領収書が必要な方は、受付でお申し出ください。

3. クローク

場所：講義棟 14 番教室

時間：大会 1 日目（11 月 3 日・土）9：30－17：40

大会 2 日目（11 月 4 日・日）9：00－13：00

<ご注意>

1. クロークチケットをお受け取りいただき、必ずお持ちください。
2. 貴重品や危険物はお預かりできません。

4. 休憩室・交流スペース

場所：講義棟 15 番教室

時間：大会 1 日目（11 月 3 日・土）9：30－13：50

飲食が可能となっております。昼食時等においてご利用ください。また、ご所属団体のチラシやパンフレットなどを置いていただくことも可能です。各種情報の交流スペースとしてご活用ください。

5. 懇親会

日時：大会 1 日目(11 月 3 日・土)18：00－20：00

場所：茨城大学 水戸キャンパス内 茨苑会館（学生会館）

「茨城大学×常陸野ネストビール」の懇親会企画（詳細は HP にて）も予定をしています。

参加費は、3,000 円程度（院生はその半額程度）です。ふるってご参加ください。

<ご注意>

1. 事前のお申し込みが必要です。
2. 直前キャンセルの場合、キャンセル料をいただく場合があります。変更はできる限り早めにお知らせください。

6. 総会

日時：大会 1 日目(11 月 3 日・土)13：50－14：20

場所：講義棟 15 番教室

学会に対する会員の皆さまの期待やご意見をお聞かせください。できる限り多くの会員の出席をお待ちしています。昼食をとりながらご参加していただいても結構です。

7. インターネット

学内の Wifi は使用できません。

なお、ご所属の大学で eduroam アカウントをお持ちの方（大学教員、学生等）は、そのままインターネットにアクセス可能です。事前にアカウントの発行手続を行ってください。

8. 昼食

大会期間中のお弁当の取り扱いはしておりません。

ランチマップ等を作成する予定で、事前に公式ウェブページに掲載致しますので、お出かけ前にご覧いただけましたら幸いです。

講義棟 15 番教室が休憩室・交流スペースとなっており、飲食が可能です。

9. その他

お車でお越しの方へ

お車の場合は、東京方面からは常磐自動車道水戸北スマート IC を利用された方が茨城大学水戸キャンパスには近くなります。なお、いわき方面からの水戸北スマート IC の利用は不可なので、那珂インターをご利用ください。学内の駐車場のご利用については、大学の正門にて車の入講の手続きをしてください。

喫煙について

本学キャンパス内は、すべて禁煙となっております。キャンパス周辺での喫煙などについても、ご遠慮ください。

10. お問い合わせ

会場や大会全般に関するお問い合わせ

第 1 回大会事務局へ 2018office@jarcds.org

入会等に関するお問い合わせ

学会事務局へ info@jarcds.org

大会期間中

大会本部へ 講義棟 14 番教室（受付）

研究発表者，ワークショップファシリテーター等へのご案内

1. 研究発表，シンポジウム，ワークショップの会場では，プロジェクターを用意します。OHP 等での発表はできませんので，ご注意ください。
2. 発表では，学会が用意する PC をご利用できます。学会が用意する PC の OS は Windows10，Powerpoint2016 がインストールされたものを予定しています。また，データの移行は，通常の USB メモリ (TypeA) を用いて行ってください。USB-TypeC の端子はありません (図 1)。

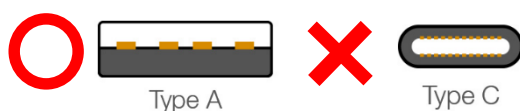


図 1

3. PC をご持参いただき，接続することもできますが，PC と会場プロジェクターとの接続は，通常の VGA 端子 (D-Sub15 ピン) のみとなります。HDMI 端子等のデジタル端子はご利用になれません (図 2)。特に Mac を使用される場合は，必ず VGA 端子への変換アダプタをご持参ください。また，会場には，HDMI 端子等からの変換アダプタも備えられていませんので，ご注意ください。また，接続不良，プロジェクターとの相性等の関係で不具合が生じた場合には，学会が用意する PC をご利用いただくことになります。不具合が生じた場合に USB メモリでデータ移行ができるようご準備をお願いします。

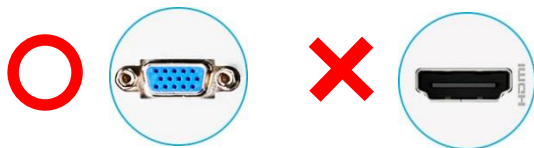


図 2

4. 発表の開始前に，必ず PC とプロジェクターの接続及び出力のチェックをお願いします。お近くのスタッフにお声かけの上，研究発表に関しては，10：00－10：50 までの間に，シンポジウムに関しては，10：00－13：45 までの間に，ワークショップに関しては，9：00－9：20 までの間にチェックを済ませてください。
5. 紙の資料の配布も可能です。ただし，研究発表では，ご自身で印刷の上，ご持参いただく必要がありますので，大会事務局に出席予定人数を確認の上，必要部数をご準備ください。
6. 研究発表は，1 発表につき 30 分（発表 20 分，質疑応答 10 分）となります。その後に総会やシンポジウムが予定されていますので，特に，発表時間 20 分は厳守してください。時間の目安として，15 分で一鈴，18 分で二鈴，20 分で三鈴を鳴らします。

大会シンポジウム

11月3日 14:30—17:30 講義棟 15 番教室

面会交流の現状と課題

—日本は海外から何を学ぶべきか—

司 会：町田隆司（東京家庭裁判所 家庭裁判所調査官）

シンポジスト：桑田道子（NPO 法人 FLC 安心とつながりのコミュニティづくりネットワーク
Vi-Project 代表）

シンポジスト：佐々木健（専修大学法学部 教授）

シンポジスト：曾山いづみ（奈良女子大学研究院生活環境科学系 助教）

シンポジスト：渡部信吾（さいたま家庭裁判所 主任家庭裁判所調査官）

指定討論者・

コメンテーター：小田切紀子（東京国際大学人間社会学部 教授）

最近、離婚または別居による未成年者と別居親の面会交流に、関心が高まっています。ご存じのとおり、協議離婚届に面会交流協議のチェック欄も設けられ、面会交流を行うべきという社会的気運が高まったと言って良いのでしょうか。家庭裁判所でも、原則として面会交流を実施するよう助言をしながら、調停や審判、訴訟を進めています。

しかし、面会交流の頻度を見ると、日本では、依然として月 1 回程度のパターンが多いようです。その理由としては、面会交流により過去の葛藤や紛争が甦ることへの恐れや、別居親を排除しようとする心理、離婚後は単独親権とする法文化が定着している社会背景などが考えられます。子ども自身も学習塾やスポーツなどに多忙であることも、理由にあげられるでしょう。そして、数回の交流で途絶えてしまうことも多いようです。しかし、これを諸外国と比較すると、どうなるのでしょうか。海外では、離婚後も共同親権制度が多いためか、かなり頻繁な面会交流頻度を定めることがあります。例えば、週 4 日は母方に、3 日は父方に監護されるという交替監護さえあります。

では、どちらのスタイルが「子の福祉」上、望ましいのでしょうか。そもそも、面会交流における「子の福祉」の基準は、どこにあるのでしょうか。

今回大会企画シンポジウムにあたり、大会実行委員会では、表記のようなテーマを検討しました。海外のやり方を盲目的に追従するのではなく、良いところを導入しながらも、日本における面会交流を社会的にも文化的にも成熟させていく必要があると思われたからです。今回、シンポジウムには、研究者、司法関係者、そして面会交流支援の実務家で、現在、それぞれ第一線で活躍されている先生方に、シンポジストをお願いしました。各 20 分ずつ話題提供していただく予定です。それぞれの領域において、今、何が課題で、それは目を転じるとどのような解決策がありうるか、逆にまだ踏み込むのは危険なのか、幅広い議論ができれば良いかと思っています。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。（状況により、内容・登壇者は変更する場合があります。）

研究発表A

11月3日 11:00-13:10 講義棟27番教室

司会：青木 聡（大正大学）

11:00-11:30

- A-1 中国のステップファミリーの多様性
—若年成人子の語りにみる同居・別居・扶養—

明治学院大学大学院社会学研究科 寧 爽

11:30-12:00

- A-2 シングルファーザーの語る子育て経験

日本女子大学大学院 三塚 悠

司会：緒倉 珠巳（ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン）

12:10-12:40

- A-3 大事なものは親同士の心の仲介！現場から見る面会交流

一般社団法人りむすび しばはし 聡子

12:40-13:10

- A-4 離婚後の面会交流における両親間の円滑な情報共有

特定非営利活動法人ウィーズ 光本 歩

研究発表 B

11 月 3 日 11:00－13:10 講義棟 28 番教室

司会：町田 隆司（東京家庭裁判所）

11:00－11:30

B-1 養育費不払い問題について
ー現状およびドイツの制度紹介ー

福井大学国際地域学部 生駒 俊英

11:30－12:00

B-2 ネガティブな夫婦ライフイベントの多重構造
：日本語版 MSQ を用いた検討

茨城キリスト教大学 黒澤 泰

司会：野沢 慎司（明治学院大学）

12:10－12:40

B-3 父母葛藤・協力と子どもの心理的苦痛，適応等との関連

筑波大学大学院人間総合科学研究科 直原 康光
筑波大学人間系 安藤 智子

12:40－13:10

B-4 親の離婚・再婚を経験した子どもの結婚観

茨城大学人文社会科学部 野口 康彦
大正大学心理社会学部 青木 聡
大阪産業大学経済学部 菊地 真理

ワークショップ A

11 月 4 日 9:30－12:30 講義棟 28 番教室

離婚家庭と子どもへの支援

－FAIT(Families in Transition)プログラムの紹介と実践－

ファシリテーター：福丸 由佳（白梅学園大学）

ファシリテーター：大瀧 玲子（日本女子大学カウンセリングセンター）

ファシリテーター：曾山いづみ（奈良女子大学）

本ワークショップは、離婚を経験する親子に向けた FAIT プログラムをご紹介します。その一部を体験していただくことを通して、親と子ども双方への心理的支援について改めて考えることを目的としています。FAIT プログラムは米国で開発された心理教育プログラム（Families In Transition, Brown, 1994）の日本版で、日本の文化や社会制度に合わせた改訂を行いながら実践を行ってきました。これまでの実践から見えてきたことにも触れながら、特に子どもの視点から家族の移行期をとらえ直し、その際、求められる支援のありようについて、皆さんと共に検討してみたいと思います。

ワークショップ B

11 月 4 日 9:30－12:30 講義棟 29 番教室

ステップファミリーの基本理解とサポートプログラムの紹介

ファシリテーター：緒倉珠巳（ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン）

本ワークショップは、親の離婚・再婚を経験した子どものいる家族「ステップファミリー（以下 SF）」をテーマにしています。SF には初婚家族とは異なる特有の家族構造や課題、さらには日本ならではの課題もあります。SF の親当事者は「今度こそ幸せな家族にしたい」と期待するにもかかわらず、SF を築くことには、難しさが際立つ家族形態としてみられているのが一般的ではないでしょうか。今回は、米国で開発され日本版にアレンジを進めている、SF 向け心理教育プログラムの一部を体験いただきながら、課題理解と支援の工夫について皆さんと共に深めていきたいと思います。